

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和1年10月1日

計画の名称	6 栃木県の市街地内における鉄道駅アクセス道路等の強化											
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）				交付対象	栃木県						
計画の目標	市街地内における鉄道駅、高速道路IC及び産業団地へのアクセス箇所を重点的に整備し、公共交通の充実強化や成長基盤の強化により、拠点型集中型のコンパクトなまちづくりを図る											
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 主要鉄道駅等アクセス道路の整備率とH22センサス交通量によりアクセス強化された交通量を算出する。 											
定量的指標の定義及び考え方	駅等へのアクセスが強化された交通量を算出する。 （駅等へアクセスが強化された交通量）＝Σ（対象駅等アクセス道路等の整備率）×（対象H22センサス交通量）											
全体事業費	合計（A+B+C+D）	9,197 百万円	A	9,107 百万円	B	0 百万円	C	78 百万円	D	12 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.8%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業策定主体（栃木県 都市整備課・都市計画課）にて評価を実施	H29繰越工事完了後のH31年度に実施
	公表の方法
	栃木県HPにおいて公表

A 地方道路整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業者	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
A-1	街路	一般	栃木県	直接	栃木県	0.55	3・3・102号 宇都宮水戸線（築瀬町）	現道拡幅 L=0.9km	宇都宮市 宇都宮市						293	
A-2	街路	一般	栃木県	直接	栃木県	0.55	3・2・101号 大通り（駒生）	現道拡幅 L=0.9km	宇都宮市 宇都宮市						1,625	
A-3	街路	一般	栃木県	直接	栃木県	0.55	3・2・101号 大通りほか1路線（桜）	現道拡幅 L=1.1km	宇都宮市 宇都宮市						4,074	
A-4	街路	一般	栃木県	直接	栃木県	0.55	3・4・20号 平町東町線ほか2路線（下今市）	現道拡幅 L=0.6km	日光市 日光市						1,562	
A-5	街路	一般	栃木県	直接	栃木県	0.55	3・4・1号 藤原西那須野線（永田町）	現道拡幅 L=0.6km	那須塩原市 那須塩原市						253	
A-6	街路	一般	栃木県	直接	栃木県	0.55	3・2・101号 大通り（駒生町Ⅰ）	現道拡幅 L=0.9km	宇都宮市 宇都宮市						870	
A-7	街路	一般	栃木県	直接	栃木県	0.55	3・4・15号 黒磯本通り	道路再整備 L=0.3km	那須塩原市 那須塩原市						305	
A-8	街路	一般	栃木県	直接	栃木県	0.55	3・3・901号 おもちやのまち下古山線ほか1路線（若草町）	現道拡幅 L=0.7km	壬生町 壬生町						65	
A-9	道路	一般	栃木県	直接	栃木県	0.55	(主)今市氏家線（下今市）	交差点改良 L=75m	日光市 日光市						10	
A-10	道路	一般	栃木県	直接	栃木県	0.55	(主)宇都宮今市線（駒生町Ⅰ）	交差点改良 L=300m	宇都宮市 宇都宮市						50	
合計											9,107					

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業者	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
合計											0					

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業者	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
C-1	施設整備	一般	栃木県	直接	栃木県	0.55	(主)今市氏家線（下今市）	交差点改良 L=75m	日光市						15	
C-2	計画・調査	一般	栃木県	直接	栃木県	0.55	公共交通課題分析	広域公共交通改善方策検討	県内全域						25	
C-3	施設整備	一般	栃木県	直接	栃木県	0.55	(主)宇都宮今市線（駒生町Ⅰ）	交差点改良 L=300m	宇都宮市						28	
C-4	計画・調査	一般	栃木県	直接	栃木県	0.55	交通実態調査	完了路線の効果測定	県内全域						10	
合計											78					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-1	街路事業 (A-4)と一体的に整備することで、交通結節点である東武下今市駅及びJR今市駅へのアクセスが強化されるとともに、歩行者・自転車の安全で安心な通行を確保し、事業の効果促進を図る。	
C-2	広域公共交通ネットワークの改善方策の検討成果を活用することにより、交通結節点へのアクセス性の向上、交通渋滞や交通事故の抑制、高齢者等の移動手段を確保することで、事業の効果促進を図る。	
C-3	街路事業 (A-6)と一体的に整備することで、宇都宮市街地と東北自動車道大谷スマートICへのアクセスが強化されるとともに、歩行者・自転車の安全で安心な通行を確保し、事業効果促進を図る。	
C-4	道路整備完了工区の効果測定・事後評価を実施し、必要に応じて新規事業における当初計画の改善を行うことにより、効率的・効果的な事業展開を図る。	

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業者	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
D-1	地籍整備	一般	栃木県	間接	宇都宮市	0.55	宇都宮市 社会資本整備円滑化地籍	面積 0.2km ²	宇都宮市						12	
合計														12		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-D1-1	道路事業(A-10)に先行して、土地境界等を明確にすることにより、事業の円滑な実施を図る。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		・市街地内における鉄道駅、高速道路IC及び産業団地へのアクセス箇所を整備し、公共交通の充実強化や成長基盤の強化を図ることができた。				
II 定量的指標の達成状況	指標(駅等へのアクセスが強化された交通量)	最終目標値	51,860台/日	目標値と実績値に差が出た要因	一部の用地所得が難航したこと、関係機関との協議に時間を要したことにより、当初予定していたスケジュールから遅れが生じ、目標値を下回る結果となった。	
		最終実績値	44,659台/日			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)		一部進捗に遅れがみられるものの、市街地内の鉄道駅、高速道路IC及び産業団地へのアクセス箇所と一体的な歩行者・自転車通行空間の整備により、安全で安心な通行空間を確保すること;				

3. 特記事項(今後の方針等)

・今後も市街地内の鉄道駅、高速道路IC及び産業団地へのアクセス箇所を重点的に整備することにより、拠点型集中型のコンパクトなまちづくりを図るために、未完了事業については次期の整備計画へ引き継ぎ、整備を行っていく。